

オンライン面接では分からない 学生の適職タイプを、二択の質問で診断 「暗黙知を可視化する」研究成果を、就活支援サービスに応用

芝浦工業大学（東京都港区／学長 村上雅人）デザイン工学科の蘆澤雄亮准教授は、アイハーツ株式会社（東京都武蔵野市／代表取締役 野田憲史）と共同で開発した就職活動用のポートフォリオ作成ツール「ハローナビ就活・適職診断」に、二択の質問に回答していくと 15 種類の適職タイプが分かる簡易診断機能を開発し公開しました。

コロナ禍において、オンライン面接だけでは採用応募者を詳しく知ることができないという課題も聞かれる中、この診断結果も併せて活用することで、募集企業と応募者のマッチングを支援することが可能になります。

ポイント

- 会員登録無しで、誰でも無料で診断可能。iOS 用アプリもリリース
- 50 問の設問の回答から、営業タイプ、クリエイティブタイプなど 15 種類の適職タイプを診断
- 「学生観察の暗黙知」をシステム化してその評価を可視化することで、学生の潜在能力を測定する知見を見いだす

小さなミスも見逃さない
キッチリ管理者タイプ



手続きはお任せあれ
頼れる窓口タイプ



ひとつひとつ積み上げる
コツコツ研究者タイプ



裏側でみんなを支える
緑の下の方持ちタイプ



柔軟な発想で問題を解決
頼れる裏方タイプ



現場はお任せあれ
しっかり店長タイプ



複雑なシステムはお任せあれ
合理性の鬼タイプ



遠くからそっと支える
よき指導者タイプ



チームを活かす
総合ディレクタータイプ



知恵と技術でお応え
頼れる相談役タイプ



コミュニケーションが命
身近な相談役タイプ



ハッとひらめく
企画プランナータイプ



じっくり前向き
気長な職人タイプ



臨機応変に対応
柔軟なトレーナータイプ



常にチャレンジ
孤高の職人タイプ



▲回答の特性に応じた、15 種類の診断タイプ

システムの概要

回答ごとに点数が割り振られた「事務タイプ」「クリエイティブタイプ」「営業タイプ」「教育タイプ」「管理タイプ」「技術タイプ」の 6 つのタイプの合計点から、1 位・2 位になった 15 通りの組み合わせによる特性を、「ハッとひらめく」企画プランナータイプ、「ひとつひとつ積み上げる」コツコツ研究者タイプなどと定義。

